

〈報道発表資料〉

教育部 文化財保護課

担当 課長 高山

直通 048-997-6666

E-mail:bunkazai@city.yashio.lg.jp



第54回企画展「昭和時代の八潮」

1月24日（土）から3月8日（日）まで、八潮市立資料館（八潮市南後谷763番地50）において、第54回企画展「昭和時代の八潮」を開催します。

1 開催の目的

2026年は昭和と改元されてから100年にあたります。この節目の年に、昭和という激動の時代の中で八潮市域がたどってきた歴史を紹介することを目的に本展覧会を開催します。

2 内容

本企画展では、恐慌や戦争、戦後復興、経済成長などをテーマとして、資料館の収蔵資料を中心に60年を超える「昭和」の八潮を振り返ります。

3 関連事業

(1) 担当職員による展示解説

第1回 1月31日（土）午後2時～3時

第2回 3月1日（日）午後2時～3時

(2) 企画展関連講座「三村の成立と八潮村の誕生」

3月8日（日）午後1時30分～3時30分

定員 30名（申込順）

申込 2月5日（木）より資料館窓口・電話・電子申請で受付

4 見解

社会が大きく変化し続けた「激動の時代」の中で、八潮はどのような歴史

を歩んだのか、100 点を超える資料から知っていただけましたら幸いです。

5 添付資料

第 54 回企画展「昭和時代の八潮」チラシ

第54回企画展

昭和
100年
1926-2026

昭

和

時

代

の

八

潮

令和 8 年

1 / 24 (土)

3 / 8 (日)

関連イベント

◆展示解説会（申込不要）

1月31日（土）・3月1日（日） いずれも14時～15時

◆資料館講座「八潮誕生70周年（仮）」

3月8日（日）13時30分～15時30分

定 員：30名

申込受付：2月5日（木）～3月7日（土）

申込方法：窓口、電話、電子申請



電子申請はこちら



市制施行・庁舎落成記念式典（当館蔵）

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日（祝日の場合開館）

祝日の翌日（2月12日、2月24日）

入館料 無料



「草加駅」東口～「手代橋」バス停下車徒歩5分
「八潮駅」北口～「後谷住宅前」または「南後谷」バス停下車徒歩3分



▲企画展HP



八潮市立資料館

埼玉県八潮市大字南後谷 763 番地 50

048-997-6666

bunkazai@city.yashio.lg.jp

背景写真：当館収蔵公文書

第54回企画展 昭和時代の八潮

2026年は「昭和」と改元されてから100年にあたります。恐慌や戦争、戦後復興、経済成長など、社会が大きく変化し続けた「激動の時代」の中で、八潮はどのような歴史を歩んだのでしょうか。資料館の収蔵資料を中心に、60年を超える「昭和」の八潮を振り返ります。

展示構成

プロローグ 昭和前史

昭和前史の大正時代は、第一次世界大戦による大戦景気やその反動による戦後恐慌、関東大震災による甚大な被害など社会が著しく変化する一方、大正デモクラシーと呼ばれる自由主義的な思想や運動が開花し、今につながる様々な物事が誕生した時代でもありました。プロローグでは、昭和の礎となった時代を紹介します。

第1章 動乱の時代—昭和恐慌と軍国化への道—

昭和の幕が明けてまもなく発生した金融恐慌や世界恐慌、農業恐慌により日本国内は深刻な不況に陥ります。不況による社会不安と政治不信は、その後の軍部の台頭と軍国化を招き、絶望的な戦争への道を歩むこととなります。昭和初期の経済不況、戦争にいたる過程とその結末を見ていきます。



供出された普門寺の鐘（普門寺蔵）



潮止自治学校勤労報國隊（当館蔵）

第2章 胎動の時代—占領と経済成長—

昭和20年(1945)8月の終戦に伴って日本は連合国軍の占領下に置かれ、民主化と非軍事化を軸とした改革が始まります。その後、冷戦が激化するなかで経済重視へと方針が転換され、高度経済成長期を迎えるました。終戦を機に変化していく社会の様子を紹介します。



祝町制横断幕（当館蔵）

第3章 成熟の時代—まちの発展と公害問題—

経済成長の影響は昭和後期も続き、まちは新たな環境へ変化を遂げます。しかしその影響は良いことばかりではなく、水質汚染などの公害問題を深刻化させる結果にもなりました。様々な課題を抱えながら迎えた激動の時代の終焉を見ていきます。



八潮団地入居（当館蔵）



完成したばかりの市役所付近（当館蔵）

エピローグ 受け継がれる昭和

昭和64年(1989)1月7日、昭和天皇の崩御によって「昭和」は幕を閉じ、翌日から「平成」が始まります。昭和の終わりには、発展に伴って新たな課題も生まれており、その解決は平成まで受け継がれることとなりました。エピローグでは、昭和から引き継がれた課題が解決されて現在のまちの様子に近づいていく過程に着目します。



八潮市立資料館

埼玉県八潮市大字南後谷763番地50
048-997-6666
bunkazai@city.yashio.lg.jp



▲企画展HP